

<領域：医療的ケア>

医療的ケア

問題 101 次の記述のうち、バイタルサインを測定するときの留意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 非接触型体温計による測定では、環境温度に注意する。
- 2 脈拍の測定では、どうこつどうみやく 橈骨動脈ほしに拇指で触れる。
- 3 呼吸の測定では、ゆっくりと息をするように伝えてから行う。
- 4 血圧測定では、上腕にマンシェットを隙間のないように巻く。
- 5 意識レベルは、まず身体を揺さぶって反応をみる。

問題 102 気管カニューレの構造等に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 気管カニューレは、咽頭に挿入されている。
- 2 気管カニューレは、交換の必要がない。
- 3 カフは、カニューレの上端についている。
- 4 カフには、滅菌蒸留水が入れてある。
- 5 サイドチューブから、カフの上部の貯留物を吸引することができる。

問題 103 Aさん(85歳, 男性)は, 慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease)で, 介護老人福祉施設に入所している。ある日, Aさんから、「痰がからんでいて, 咳をしても出せない」という訴えがあった。介護福祉士が呼吸回数を確認すると, 1分間に22回で, ゴロゴロという音がしていた。看護職からは, 右肺に痰が貯留しやすいという情報提供があった。口腔内吸引をすると, 粘性の強い透明な痰が吸引できた。

このとき, 介護福祉士が喀痰排出を促すためにAさんに行う対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居室の湿度を30%に保つ。
- 2 水分摂取を控えるように伝える。
- 3 左側を下にした体位を勧める。
- 4 太い吸引チューブに変える。
- 5 ベッド上での安静を勧める。

問題 104 次の記述のうち, 胃の構造として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 幽門から始まり噴門で終わる。
- 2 左上方を胃底部といい, 食べ物を一時的にためる。
- 3 左下方の縁を小弯しょうわんという。
- 4 胃には3つの生理的狭窄部せいりてききょうさくぶがある。
- 5 胃に続く小腸は, 空腸という。

問題 105 次の記述のうち、ボタン型胃ろうチューブを挿入している利用者に対して、
介護福祉士が行うケアとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 胃ろう周囲の皮膚に発赤がある場合は、軟膏^{なんこう}を塗布する。
- 2 1日に2, 3回、胃ろうチューブを回転させて、癒着を防ぐ。
- 3 胃ろうチューブの抜去予防のため、歩行は避けるように勧める。
- 4 胃ろう周囲の皮膚は石けんとぬるま湯で洗浄して、清潔を保つ。
- 5 栄養剤を注入する前には、胃ろう部を消毒する。

B

パ

ー

ト

Bパートの問題はここまでです。